

州ノ氏康關東隨一ノ猛將ニシテ隙アラバ八州ノ諸大將ヲ團下ニ靡ケシメント日夜朝暮ニ心ヲ碎カルト聞及ヌレ共未ダ野州表へ働ヲ懸ラレザル所爲ハ古來宇都宮結城小山ナンドテ譽レノ歴々有ガ故也當方件ノ一戰ニ芳賀ヲ討取侍ラバ宇都宮家ノ威光衰テ氏康ハ時ヲ得テ終ニハ那須黨ノ匹敵ト成後ニハ奥州ノ葦名前ニハ南方ノ氏康ヲ引受ナバ勇々敷大事當家ノ滅亡踵ヲ廻スベカラズ爰ヲ以勝ヲ殘セルモノ其天ヲ恐ルト云諺アリト答ケレバ資胤ヲ始黨ノ面々迄モ其心ヲ感シケルト也

〔川角太閤記^五〕一長岡兵部大夫殿但幽齋之事此家今迄相續候義は偏臣下松井佐渡守分別と承候其

子細は信長公の御時津の國河内の國兩國の内にて十二萬石可被遣候但丹後一國は十二萬石にて何れにても望の分を可遣と被仰渡候處同は津の國河内の内を以拜領可仕候乍去御返事は明日可申上候とて御前を被罷出候略中松井佐渡守有吉四郎右衛門米田次郎兵衛右三人に談合被仕候へば二人の者は丹後は遠國にて御座候攝津國河内は京著能御座候間二箇國の内を以て御拜領候様にと申上候處松井佐渡守申様には御分別も申上候通一つにて御座候と相見申候遠國の様にも御座候京著右之兩國とは違可申候へど分別仕候に後天下と西との争ひ御座候ば攝津の國河内の國弓矢のちまたにて可有御座候天下と東との争ひ御座候時は美濃尾張近江此二三ヶ國の間にて以來迄も此所弓矢の岐に可罷成と古き者共申傳候只今存候攝津國河内の間にて十二萬石迄にて天下へ付候共西へ付候共中々其日にはだか城に罷成其上十二萬石の御知行所二三年の内亡所に可罷成候間只遠國の丹後を一國御拜領被成候へば天下に何事御座候共五十日百日の間には世間靜り候事を丹後國にてはゆるくと日よりを御覽可被成候是にては以來御家續可申候間御分別違に被成丹後を御拜領可被成事私へ御まかせ可被成候と達て申上候處にさらば佐渡守に任せしぞ逆丹後拜領なり其後明智殿信長公を